

足立区立亀田小学校  
学校長 井上 龍夫 様

足立区立亀田小学校  
開かれた学校づくり協議会

## 令和7年度 学校関係者評価

### 1 自己評価全般について

#### 【学力の確実な向上】

- 4月に実施した区学力調査の結果について、国語の目標値通過率が97.1%（昨年度と同じ）、算数の目標値通過率が95.4%（3%減）との報告があった。算数の通過率は減少したものの、本年度も高い水準を維持しており、この数年間の取組の成果が数値として表れている。
- 通過率が常に高いのは亀田小学校の強みである。
- 授業において、数多くの児童が積極的に発言している。児童同士のグループ協議でも、与えられたテーマに沿ってしっかりと話し合えてきている。
- 学力調査やアンケートの結果から、学力や学習意識が高いことが分かる。教員の努力を感じる。
- 朝のパワーアップタイムや放課後補充学習、ステップ学習等の成果が表れ、学習が定着している。
- 管理職を含めた教職員全員で補充授業に取り組んでいる成果が、今年度の通過率に表れている。
- 放課後補充教室の取組は、本当に素晴らしい。
- ☆学習内容の定着や学習意識がまだ十分とはいえない児童に対して、教員は、さらに指導、支援に力を注いでほしい。
- ☆今後は、探究活動や話し合い活動のテーマ、目標等を、児童が自分たちで決められるようになると、さらに本当の意味での学力が向上すると考える。

#### 【豊かな心の育成】

- 「自分を好き」という子は82%（昨年度と同じ）で、数値は高いが、校長が掲げた目標達成基準の85%を達成することはできなかった。今年度も、異学年交流やクラブ活動、課外活動、地域と連携した学習などを実施することができた。その中で、児童の自己肯定感や自尊感情が高まってきていることは好ましく思う。
- 「学校は楽しい」（91%）という結果は、何より嬉しいことである。
- 高学年が「なやみや困ったことを相談できる人がいる」（4～6年の平均98%）と答えていて安心した。家庭、学校、地域が協力し、100%にしたい。
- ☆「自分が好き」という項目に関しては、「学校は楽しい」（91%）「よいところ、得意なことがある」（95%）と比較すると、まだ低い水準にあると言える。児童の自己肯定感や自尊感情をさらに向上させることができるよう、工夫を続けてほしい。
- ☆「学校で自分の思いや意見を話せる」（82%）と答えられる児童がもっと増えるように、安心して発言できる環境を整え、互いを認め合う人間関係づくりに力を入れて欲しい。
- ☆大人になるにつれ夢や目標は変化することもあるので、目標をもつことは必要だが急ぐ必要はないように思う。
- ☆かめっ子ばれっとは、最終的には一緒に遊ぶのだが、異学年、他クラスの児童と遊ぶのを最初は嫌がる様子が見られる。学校のかめっこ班活動での交流が活かされるようになることを期待する。

#### 【体力の向上】

- 体力・運動能力調査では、79/96種目が都の平均を超えていた。体育科の授業改善はもちろん、夏季水泳指導、持久走旬間、なわ跳び旬間といった取組の成果であると言える。
- 下校後に外遊びをする時間がなかったり、長期休業明けは規則正しい生活に戻すのが難しかったりするが、持久走旬間やはつらっカードのおかげで、目標達成目指して取り組み、その結果、体力向上や早寝・早起きにつながるので、継続してほしい。

### 2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

- 今年度からより多くの地域の方に協議会委員になってもらったことで、児童の学校外での様子がこれまで以上によく分かるようになった。これからも情報共有を進めていきたい。

### 3 学校の様子について

#### 【学校教育の取組や学校施設について】

- 公開授業で、児童に興味をもたせるために教員がいかに工夫しているのかが見ることができた。
- 「当たり前のことを当たり前」はとても分かりやすいキャッチフレーズなので、今後も継続してほしい。
- 学校の教育活動についてのアンケートにおいて、ほぼ全ての項目で90%以上の保護者が「十分」「ほぼ十分」と答えている。素晴らしい。学校が重点としている内容に関する指導についても90%以上の保護者が「十分」「ほぼ十分」と答えている。指導のあり方が正しいとの評価だと思う。
- アンケート結果から「あいさつ」「言葉遣い」「時間を守る」の項目について、他項目と比較すると保護者が「十分」と感じている割合が低いことが分かった。社会生活で必須となるため、より高い水準目指
- 学校内は常に清潔で危険なところはない。学びの場として最適な状況を保っていると思う。
- 学校施設はいつも大変きれいに整えられている。学校全体で心がけていることが分かる。

#### 【教員の授業について】

- 授業中の教室は落ち着いている。机の配置を工夫したり、スクールアシスタントを活用したりしている成果だと考える。
- 合理的でスムーズな授業ができるように、教具を工夫している。
- 教員が、適切な言葉遣いで、児童に対して丁寧に接している。
- 教員が、児童一人一人に合った声掛けや問いをしていることから、よく児童を見ていること伝わり、感謝している。
- ☆「選挙」「冬季オリンピック」等、旬の話題を取り上げることで、児童はニュースに関心をもったり、調べ学習のきっかけを得たりすることができると思う。

#### 【子供たちの様子について】

- あいさつができる児童が多いと感じる。
- とても落ち着いていて、良い雰囲気だと思う。
- 高学年の児童が、昇降口で会ったときに元気にあいさつをしてくれたのが印象的だった。
- 感染症予防のためマスクをしていることが多くても、目の表情で笑顔なのが分かる児童でいてほしい。
- 教科書や文具を大事に扱っているのがとても良いと思う。
- 礼儀正しい児童も、そうではない児童もいるが、いろいろな児童がいて面白いし、みんなかわいいと思っ
- て見ている。

#### 【その他】

- 運動会や音楽会で、保護者が鑑賞しやすいように工夫してくれていて、毎年ありがたく思っている。
- 道徳授業地区公開講座の講演会は、貴重なデータとともに話を聞くことができ、親と子の接し方について見つめ直す良い機会となった。定量的データに基づく話を、ぜひ児童にもしてほしい。「何となく」ではなくデータに基づいた話の面白さを児童にも感じてほしいと思った。
- 大きな学校で、日々いろいろなことが起こると思うが、教員がいつも丁寧で、児童に寄り添った対応をしてくれてありがたいと思っている。
- 亀田小の児童は、とても落ち着いている。大人からの呼びかけに対してとても素直で理解がはやい。学習や生活習慣について、現状でも十分正しい指導ができていると思う。
- 教員が助け合っている様子が見られた。そのような風土が学校にあることは、教員にとって心強いのではないかと
- 思う。
- 70周年も、ぜひ亀田小学校を盛り上げていきたい。
- ☆教員が多忙で、ストレスをため込んだり、互いの変化に気付いたりすることが難しいのではないかと心配している。
- ☆学校の方針について、もっと開かれた学校づくり協議会に対して説明をしてほしかった。